

かいぞう文庫40周年「こんな本読んだよ」コンクール受賞作品



かいぞう文庫の「読み聞かせ」

海蔵の子どもたち、大人たち

「あずきとげたかみてみましょ、おこめとげたかみてみましょ」かいぞう文庫で「読み聞かせ」が始まった。今日は紙芝居。「あずきとき」の話が始まると子どもたちの耳には文庫のまわりのざわめきが聞こえなくなり、視界からは図書館の壁を埋める書棚が消えた。

突然天井から落ちてくる、おひついっぱいのおはぎに、紙芝居の前の十一人の子どもの目と耳と心は奪われた。そのおはぎの話を聞きつけて、同じごちそうを期待する村人の前に、なすびの漬物がいっぱい詰まったおひつが落ちてきて、それでこの「あずきとき」の話が突然終わってしまう結末を、聞き手も話し手も、さらりと受け入れる不思議な時間がある。

かいぞう文庫のスタッフが毎月第二火曜日に行っている「読み聞かせ」は、デジタルの時代を生きる子どもと大人を魅了してやまない。

限らない好奇心と、無限の生命力を持つ子どもですが、一方、無防備で、残酷で、危ういのも子どもです。大人は、こんな子どもたちを、放っておかず、喜び輝いてほしいと思う。

地区では発足四十周年を迎えた「かいぞう文庫」、子どもたちの自主運営で進められる「こどもまつり」、小学校PTA等が行う「通学路安全点検」、社会福祉協議会が行う「保育園児・幼稚園児と高齢者の交流会」「中学校生徒を交えての福祉体験教室」、そして「学童保育」などいろいろな「子育て支援」があります。

そんなこんな、たくさんの方がたくさん時間を費やしてさまざまな活動を行っていますが、実は、これら地域の人々子どもたちの日常に関わり、気を配り、遠くから見守るそのなかで、大人たちも新しく気づかされ、励まされ、輝かされているのではないのでしょうか。

海蔵学童保育所

海蔵学童保育所は、昭和45年に四日市市で最初にできた学童保育所です。43年もの間、ずっと海蔵地区の「地域の力」によって継続・運営されています。海蔵小学校の児童数が増え入所希望者も増加したことから、平成21年には、第2学童保育所もできました。

そもそも…学童保育所ってどんな所か知っていますか？

学童保育所は、放課後や土曜日、夏・冬・春休みなど小学校が休みのときに、保護者が仕事や病気などのため家庭で保育することができない子どもが、安心して遊んだり宿題をしたりできる「生活の場」です。

現代社会では、家庭・園・学校そして地域が連携して子どもを育てる必要があります。「子育て」をしている親をサポートする役割だけでなく、子ども自身が自らの力で心身ともに成長する「子育て」の場であり、子どもたちの居場所である海蔵学童保育所は、大切な「地域の宝」であるといえるでしょう。

海蔵学童保育所の現状

◆保育時間 平日：放課後～18:30 土曜日・夏・冬・春休みなど：7:30～18:30

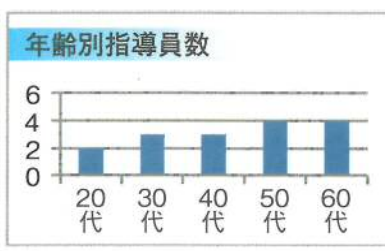
◆入所児童数（第1：52名 第2：38名）

1年	38名
2年	27名
3年	15名
4年	9名
5年	1名
合計	90名



◆指導員数

所長	1名
常勤	1名
非常勤	12名
アルバイト	2名
合計	16名
女	15名
男	1名



(夏・冬・春休み17名増)

◆運営委員 地区社会福祉協議会会長・民生委員児童委員協議会会長・主任児童委員・小学校PTA会長・育成会会長・保護者代表・指導員代表

◆所在地 第1学童保育所：東阿倉川578-1（海蔵小学校敷地内）TEL 333-5531

第2学童保育所：東阿倉川835-6（障害者自立支援生活介護事業所・「風の家」3階）

★第1学童保育所「なかよし」

♥第2学童保育所「風の家」



★小学校の敷地内なので、小学校などの関係機関と連携が密にできます。

♥おやつにパン工房「風の家」の手作りパンを食べています。

保育内容と地域とのつながり

キッズニア甲子園



職業体験

キッズニア甲子園



職業体験

夏休み 木工教室



木のアクセサリづくり

こどもフェスティバル



国際体験 外国語で話そう

四日市市育連「こどもまつり」



日本舞踊

地区文化祭



エイサー（琉球舞踊）

地区文化祭



手話ソング

デイサービスおれんじ



タオル体操

指導員の声 学童保育所では、異年齢の子どもたちが長期間、兄弟姉妹のように生活を共にすることができます。遊びやふれあい、体験を通して、自然に生きる力を育むことができます。地域の行事に参加したり、高齢者や障がいのある人たちの施設を訪問したりする中で、多くの方々の思いやりや優しさにふれ、幸せな時間を過ごすこともできます。

指導員の専門性を活かし、舞踊・音楽・スポーツ・絵画・読書などにチャレンジしています。子どもたち一人ひとりが個性を伸ばし自尊心を育ててくれたらと願っています。

ある研修で、学童の指導員は、「となりのトトロ」のような存在になることが好ましいという話をききました。「本当の家族にはなれないけれど、困った時、寂しくなった時、そばにあらわれ、心を和ませ安心させ、夢を与える」そんな存在でありたいと、16名で力をあわせ、90名の子どもたちを支えています。

一日の流れ 放課後～ 宿題

- 15:30～ 自由遊び（小学校運動場）
サッカー・ドッジビー・なわとび・一輪車
- 16:20～ 今月のうた・読み聞かせ
- 16:30～ おやつ（当番活動）
- 17:00～ 自由あそび（幼稚園園庭）
うんてい・おにごっこ・かくれんぼ・すべりだい
- 17:30～ 自由あそび（室内など）
こま・オセロ・マンカラ・おりがみ・どろだんご

保護者の声 長女が小学校に入学するのを機に家を建てることとなり、立地条件が保育園（妹達通園）と職場と小学校、そして学童保育所を行き来できる場所でした。我が家はずっと共働き家庭で、子どもたちも乳児の頃から保育園を第2の家として生活してきました。保育をしてくれる先生方を「親」同然に慕ってきた子どもにとって、また頼ってきた親として学童保育の質はとても重要なものでした。でも、友人からは四日市の学童保育は民設民営で、先生の確保も経営も親がやるものという話を聞いていたので、質に関しては半分あきらめモードで、小学校の敷地内に施設があり、子どもたちが通うのが安全である海蔵地区を選択しました。実際に入所を決め、説明会にいくと、リードしてくれる先生がおり、かつ地域が一体となった学童保育であることを知り、すごく安堵した事を覚えています。

入所してからは、放課後しっかり宿題をする時間をとっていただき、地域の行事などに参加する事でいろいろな経験をさせてもらっており、充実した生活をおくっているように親としては思います。確かに、学童に通っていない仲の良いお友達と遊びたい、監視の目のないところで遊びたいなど、子どもには、それなりの不満はあるようですが、悪い事、危険な事をした時、きちんと叱ってくれる先生がそばにいる事は、親としてこれ以上の安心材料はないように思います。また、長期の休みには、工場見学やバス遠足など、毎回企画して頂き、長い休みを楽しく過ごす工夫をして頂いていて、すごく助かっています。

海蔵地区子ども会育成者連絡協議会

(通称：育成会)

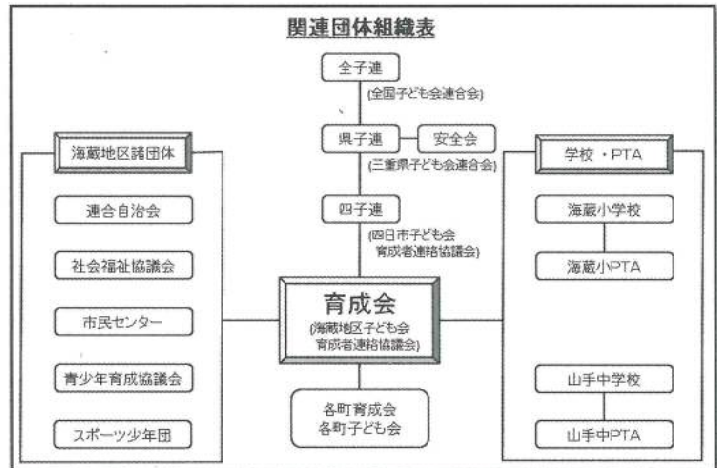
海蔵地区子ども会の連絡調整役。各町選出の役員によって組織し、各町育成会長・副会長等と共に研修会、講習会、野外活動等を行うことで、子ども会活動の育成をはかる事を目的とする組織です。昭和37年頃発足し（詳細年月は不明）、現在も地域の皆様に見守られながら、子ども達のすこやかな成長を願いつつ、活動を行っています。

■会員数：14地区606名（平成25年4月末日現在）

■構成役員（通称：本部役員）

海蔵地区の子ども会育成者によって構成される。各町、男性育成者1名を選出（任期3年）。また、子ども会入会世帯数が多い3町については、女性の育成者1名を選出（任期2年）。他、顧問1名。現在、14地区 計17名の本部役員で活動中。

※各行事には、各町会長、副会長他育成会役員OBの方々にもお手伝いをお願いしています。



「育成会総会要綱」より

■育成会活動実績（平成25年度実績）

4月 7日(日)：第52回 定期総会開催。

5月25日(土)：危険予知トレーニング (KYT) 研修。

1年間の活動を踏まえ、子ども達の安全を守るため、講師を招き、毎年実施。

6月 1日(土)：野外活動。バス8台を貸切り「ナガシマスパーランド」へ。総勢426名が参加。

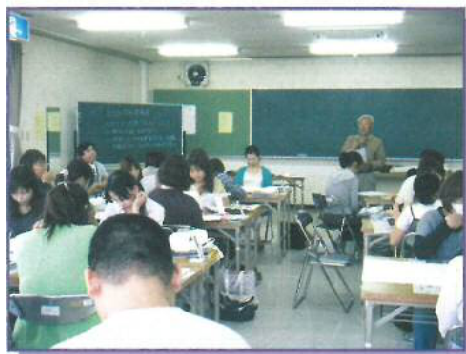
7月27日(土)：「第52回海蔵地区球技大会」(町別対抗ドッジボール大会)。

男子10チーム117名、女子9チーム112名の会員が参加。熱戦を繰り広げました。男女の各優勝チームと2位の男女混合チームが「四日市子ども育成者連絡協議会」主催CTYカップへ出場。他地区の児童達とも戦いました。

10月12日(土)：「こどもまつり」開催。海蔵小学校体育館、校庭で、11のアトラクションと4種の屋台、それに外部団体の協力も得て、盛大に実施。まつり関係者を含め、児童、未就学児、保護者総勢611名が参加。「子どもが運営するまつり」として高学年がリーダーを務める。今年で8回目の開催。

これらの行事を実施するにあたり、月1～2回の定例会を開催し、どうすれば子ども達が安全にそして、楽しく過ごせるのかを話しあっています。また年度末には育成会だより「すこやか」を発行しています。

危険予知トレーニング (KYT) 研修
毎年実施



育成会だより
「すこやか」
年1回発行



シリーズ おばちゃま探検隊



育成会といえば、遠い記憶の中のソフトボールやフットベースボールの暑い日々なのですが、さてさて今はどんなことをやっているのかな？
10月12日(出)暑さを感じる素晴らしい良い天気。

年に1度のイベント「こどもまつり」をのぞいてみましたよ。

場所は海蔵小学校の校庭そして体育館

大勢の子ども達と保護者が校庭にずらりと並び、開会式の真っ最中。会長さんの挨拶が終わると早速始まったのは、実にさまざまなゲームでした。何と11種類も。たちまち会場は子ども達の笑顔と喚声で一杯。ゲームを仕切るのは「こどもリーダー」と呼ばれる4、5、6年生の子ども達。下級生達を楽しませようと一生懸命な上級生達の表情がほほえましく、いいぞいいぞと思いながら見て回りました。参加者みんながとても楽しそうで、ゲームを待つ長い列、就学前の弟や妹が駆け回り、見守る笑顔のお母さん達、大賑わいでした。



体育館外のテントの下

こちらにも上級生たちが、カレーライス、フランクフルト、みたらしだんご、チョコバナナクレープの屋台に頑張っています。みんなが首から下げている「参加パスポート」、スタンプ表がついていて次々と回って食べてはポン、とスタンプ係りさんに押しもらう。楽しかった！おいしかった！ごちそうさま！



校庭には「移動天文車きらら号」、「防災啓発車」、「消防車」の大きな姿が。天体望遠鏡をのぞく子、震度6ってどんなかなとちょっと不安そうに並んで待つ顔々、消防車による放水体験とこちらも充実していました。



「こどもまつり」は今年で8回目となるのだそうです。お世話なさっている役員さん、そしてOBの方達、とりわけお父さん達の協力が大きな力になっている行事だなと感じました。7月から準備を始めて、終了まで安全面への配慮も含めて大変だったことでしょう。その苦労も子ども達の楽しんでいる笑顔を見て報われたことと思います。子ども達にとっても、上級生と下級生の交流が出来て、共に楽しめてとても良い催しだと思いました。ゲーム、携帯、パソコンに気を奪われがちな昨今、みんなで元気に走り回っている子ども達の姿におばちゃま達は **ホッ!** と安心のひとつときでした。

子どもたちの安全・安心を！



海蔵地区は生活に便利な地域として若い年齢層の転入者が増え、子どもの人口比率が高く、海蔵小学校の児童数は市内一番です。(平成26年1月1日現在 0~14歳 2,156人 人口比率15.76%、海蔵小学校児童数833人) それに伴って登下校時等の交通安全の確保や連れ去り等の犯罪防止が重要な課題となっています。そこで今号では、これらの課題への地域の取り組みを紹介します。

通学路の交通安全整備

地区連合自治会は

例年11月頃に、各町自治会からの道路整備などに関する市や県、警察等への要望を取りまとめています。

道路に関する市への要望箇所については、

- ①生活に身近で比較的費用が少なく済むもの
- ②多額の費用を要するもの
- ③簡易な修繕工事で済むもの

に大別し、連合自治会としての対応策の考え方を市に対して報告、要望します。

①については、市から予算枠が海蔵地区に配分され、連合自治会役員が現地確認し、費用対効果が高い工法の検討や実施規模などを検討します。

その検討結果を基に、「通学路の安全・安心の確保」を重要な要素の一つとして、箇所ごとの優先順位をつけ、順位の高いものから実施するよう市に要望しています。

②については、市において予算枠に照らして実施するか否か判断されます。③については順次実施されます。

海蔵小学校PTAは

毎年5月、各町自治会とセフティネット協議会と協働して通学路安全点検に取り組んでいます。

その結果をもとにした整備要望は、小学校を通じて市教育委員会へ提出され、翌年度の予算において対応可能となったものが実施されます。

要望については地区市民センターへも連絡され、地区連合自治会の要望との調整が行われています。

昨年(平成25年)の5月25日(土)に児童を含む600人以上が各町に集合し、学校までの通学路を歩いて危険箇所の確認を行い、整備要望をまとめました。



【市道赤堀山城線の北側歩道】
海蔵地区市民センターから海蔵保育園までの間、農地側にガードパイプ(平成23年度)、車道側にガードレール(本年度)が設置されました。



【西阿倉川浄覚寺南側市道】
市道阿倉川西富田線からの道路沿い水路600mの暗渠化を平成21年度から進め、本年度85mを実施し325mが完成しました。



【阿倉川駅南側のガード下を通る市道交差点】
本年度、交差点に明確な赤色塗装が、また通学路となる市道の南側路側帯に黄色塗装が施されました。



【清水町地内の市道】
国道365号から海蔵川堤防下までの道路側溝170mの蓋設置等整備を平成23年度から実施。本年度17mを整備。完了しました。

海蔵セフティネット

協議会は

保育園・幼稚園・小学校・中学校での不審者対応の防犯教室や交通安全教室の開催、通学路での防犯見守り活動や交通安全指導を行っています。また、毎年5月に小学校PTAと協働して通学路点検活動を行っています。



通学時等の防犯対策 交通安全対策

海蔵小学校PTAは

市教育委員会の「こどもをまもるいえ」ステッカーの設置推進団体です。

登下校時や放課後の「連れ去り」等の犯罪から子どもを一時的に保護し、警察や学校へ連絡を行ってもらうため各家庭や店舗等に協力をお願いします。海蔵地区では300軒余が協力しています。



ご協力いただける方は海蔵小学校PTA(海蔵小学校 ☎059-330-0032)へご連絡ください。